ってきたときは、山雅はJ2で3位で、地方都市ではなかなか見られない熱狂を作っていました。

一方で、名波さんのサッカーの経歴を考えたときには、ポジションが下がるのかなって思いましたが。

(名) いや全くそんなことは思わなかったです。中学まで藤枝市で生まれ育って、高校は当時の清水市に越境入学、それから大学も筑波や早稲田が強かった中で、順天堂大学を選ぶ。ジュビロ磐田でも優勝を何回かさせてもらった後に、あっさりイタリアに行く。新しいものをすぐ自分の中で取り入れたり、取り組んでいかないと、自分自身が駄目になるというか、惰性で過ごしてしまう、そういう環境が好きじゃなかったので。

4男坊で自由にさせてもらったという意味では、血というか、そういうこともあったと思います。

Profile

© 松本山雅FC

名波浩（ななみ・ひろし）

1972年生まれ。静岡県藤枝市出身。清水商業高校、順天堂大学を経て、1995年ジュビロ磐田に加入し、司令塔として黄金期を支えた。イタリアのACベネチア、セレッソ大阪、東京ヴェルディ1969にも在籍。日本代表の中心選手として活躍し1998年フランスW杯に出場。指導者としては2014年〜19年にジュビロ磐田で監督を務めた。

49歳の誕生日に降格が決まる

Q2 11月28日の相模原戦で降格が確定した瞬間を、どう自分の胸に叩き込んだか。

(名)「来年、見返してやるぞ」と強く思いましたね。というのも、その日は私の誕生日でした。なので、神様に向かって「誕生日に降格させるって、なかなかやるな」と一言つぶやきながら、そんなことを思いましたね。

スーパーゴールではなく確実に決められる10本を

Q3「野球でいえば打率2割8分5厘から2割9分5厘の数字を目指せる攻撃」との発言の真意は。

(名) 野球が大好きなので。

(臥) 3割をクリアするのが、ひとつの成功だと思いますが、微妙に下ということですか。

(名) レジェンドの選手の生涯成績を見ても、3割以上ってあんまりないですよね。2割8分5厘から2割9分5厘ぐらいが多くて。でもそこでインパクトを残すからこそ、レジェンドになると。

そういう意味で、シュートって野球のバッティングと一緒で水物なところがあるので、1000本打っても入らないこともあるし、1本で入ることもありますし。試されているということを選手が理解して練習し、確実に決められるのを10本決められるような選手をどんどん育てたいなって意味での数字です。

一流の場数を踏んできたことは大きな財産

Q4 プレーヤー名波が客観的に監督名波を見たら、どういう評価をするか。

(名) 僕という人間を知っている選手がいれば、もっと選手に細かく、自分のキャリアも含めて伝えていいんじゃないかって言うと思うんですが。市長はどうですか？「俺の頃は」と伝えても、いまの子たちは時代が違うとか、自慢話だよってなっちゃうので、ずっと言ってなかったんですよ。

新シーズン開幕前　特別対談

「原点回起」

松本山雅FC監督 名波 浩 × 松本市長 臥雲 義尚

「共に走れ 戦え山雅 勝利目指し 緑の勇者」。大勢のサポーターは、コロナ禍でチャントを歌えなくても、手拍子で応援の気持ちを送り続けました。その熱い想いと期待に、松本山雅はどう応えて巻き返しを図るのか。

昨シーズン途中から指揮を執る名波浩監督に、大のスポーツファンで、政治記者歴28年の臥雲市長が話を伺いました。

※対談は、新型コロナ感染予防対策を徹底した上で行いました。

【市ホームページ】

対談の全文はこちら

新たな挑戦の場として

Q1　松本山雅から監督のオファーがあったとき、どう受けとめたか。

名波監督（以下（名）） ジュビロ磐田の監督退任後の2年間には、他のクラブからも話をいただいたこともあったのですが、タイミングや条件面の折り合いも含めてうまく進みませんでした。そんな中、松本山雅から話をいただき、とんとん拍子で進みました。

所属する選手たちのクオリティーやパーソナリティーを考えながらでしたが、クラブが持っている将来的ビジョンや地域密着理念に大きく共感しました。

あと、自宅のある浜松市から車で行ける距離ということも大きなポイントでした。3時間半程かかりますが、ぎりぎり妻が運転して子どもたちを連れて来られます。

臥雲市長（以下（臥）） 私自身が6年前に市長になろうと戻

松本のまちのひとつの象徴に

Q7　山雅の3年後、5年後はどういうクラブに成長している、あるいは成長していくべきか。

（名）信州のサッカー熱はやっぱり山雅ありきだと思うので、山雅が上のカテゴリーにいることは絶対条件だなと。ただ、上のカテゴリーにいなくても、このクラブに魅力がある、応援しがいがあると思ってもらうには、まずピッチ上の選手たちが躍動することや走り切ることをやらなきゃいけない。その中でサポーターが1人ずつ（友人や家族をサッカー場に）連れてきてくれれば、応援の度量も上がってくると思います。

プラスして、東京を中心とした大都市に山雅を応援してくれる人や企業を生み出せるような、労力として非常に大きいと思いますが、そんな魅力を3年後5年後に作っていければいいなと思っています。

（臥）J1にいたのは2年でしたが、大都市のビッグクラブの中に山雅が存在することの意味は非常に大きかったと思います。チーム力には差があるので、何とかしのぎ切るような試合が多かったですが、体を張って、対抗する姿は、まちに勇気を与えました。それは、これからのクオリティーの時代に、松本のまちが目指していきたい姿とも重ね合わせられます。

松本のひとつの象徴が、松本山雅というサッカークラブです。できればビッグクラブと戦う舞台で、山雅のチャントを歌いたいですし、一番の醍醐味ですので、ぜひ今年のミッションを果たしていただいて、その先にも希望や展望が見えるシーズンにしていただきたいと思います。

1月10日にまつもと市民芸術館で行われた新体制発表会　©松本山雅FC

（臥）「昔はよかった。俺の時代はこうだった」これ、全くナンセンスですよね。

市長として職員に方針を示して動いてもらう意味では、監督と共通点もあると思います。私は職員に対して、松本市役所と霞が関の中央省庁を比べることがあります。役割分担はありますが、今は国・県・市の関係がフラットになってきて、スケールは小さいけど、仕事のクオリティーは中央政府に負けないようにやっていかなきゃいけない。

なので、名波さんが代表チームや海外でプレーしてきた経験や知見を、山雅に導入したり、選手に示したりされているのかなあと思っていたんですが。

（名）最終戦に、厳しい言葉で言ったんです。そこで指導者史上初めて出したんですよ、自分のキャリアの話を。

（臥）それまで出さないでおこうと思っていた真意は。

（名）時代が違うとか自慢話だって思うんだろうなという、ちょっと勘違いかもしれないですけど。市長がおっしゃった、比較対象さえ間違えなければ、どんどん発信してもいいのかなっていう気に、いま、なっています。

（臥）素人の立場から僭越（せんえつ）ですが、ぜひやっていただきたいです。

松本は、まちとしてそこそこの条件が整っていますが、それで良しとするか。同規模のまちで行われていることは取り入れ、さらに超えていくようなものを市民に提供すべきじゃないか。もっといえば、東京と違う価値感で東京に対峙するクオリティーを目指すべきじゃないかと。そのためには、一流の人の経験や知識、情報を、私たちは貪欲に取り入れなきゃいけない。

名波さんには、プレーヤーとして指導者としての一流の経験を、ぜひ山雅に注入していただきたい。受け入れる側が誤った受けとめ方をしなければ、必ずプラスになると思うので、そういう意味で少し抑制的にあり過ぎたことも、もしかしたらチームの降格につながったのではないかと、お話を聞いて感じました。

© 松本山雅FC

（名）そうですね。気持ちを強く持って、積極的にトライしたいと思います。

負傷者が少ないシーズンにするために

Q5　今シーズン開幕までに絶対やっておかなければいけないことは。

（名）選手たちには、「潰しに行くぞ」と言っています。昨シーズンの春先のキャンプがうまくいかなかったことが、最終的にけが人が出てしまったことの大きな理由だと思います。僕が就任した半年でも、片手じゃ収まらない肉離れの数、関節のけがを合わせたら15症例ぐらいあって、ありえない数字なんです。年間通して10から12がちょっと多かったねっていう感じだと思います。体づくりが足りなかったのは、十分に感じています。

昇格の感動を皆で分かち合いたい

Q6　今シーズンの目標は「最高でも最低でもJ2昇格が大きなミッション」。この表現に込めた意味とは。

（名）前所属クラブの時にJ1に昇格した瞬間、あの感動って、自分はプレーヤーではないのに、ものすごく想像より大きく感じたんですよね。泣くかなと思いましたが、ぎりぎり踏みとどまったんですけど、それぐらい1年間の苦しさ、苦楽を共にした仲間たちと喜び合える感動は、カテゴリーは関係ないなと思ったので。

J2に昇格するときも同じように喜び合いたいなという意味で、〝最高でも〟〝最低でも〟は、昨シーズン苦しんだ、いろんな方々に叱咤激励を受けながら残留できなかった、という反省の意味でも、その目標を考えました。